

みやしる

No. **123**

2022.8.1

議会だより



一般会計補正予算

地方創生臨時交付金を支援に活用...2

第27回町民と議員との議会懇談会5

町政をたず

一般質問に13人が登壇6

町民の声・各議員の賛否20

**小中学校適正配置の
説明会開かれる**

(図書館ホール)



宮代町議会HP
QRコード

6月定例議会は、5月26日から6月10日まで16日間にわたって開かれました。
町長から令和4年度一般会計補正予算や専決処分の承認、条例の改正など10件が提案され、審議の結果、
原案のとおり可決・同意しました。

また、「物価高騰に対する総合的な対策を求める意見書」は反対多数で否決しました。
一般質問では、13人の議員が質問に立ち、町政をただしました。

地方創生臨時交付金を支援に活用

一般会計補正予算

〈全会一致で可決〉

歳入歳出予算を116億1841万円に補正。新型コロナウイルスワクチン接種事業や学童保育所運営事業、HPVワクチン接種事業のほか、町独自で物価高騰に対する生活支援として、子育て世帯応援金給付や水道基本料減免事業を実施します。

主な質疑

問 地域子育て支援拠点事業の子ども民生費国庫補助金の金額は人数に応じて決められているのか。

答 金額がそれぞれ設定されているのは、主に在籍している児童数などを根拠に、国のほうが補助要綱で定めている基準額を基にして決定している。

問 子宮頸がんのワクチン接種における積算根拠と、HPV償還払い助成金の説明を求める。

答 接種を控えていた期間の対象者約1250名の接種の費用は1回当たり約1万8000円で、その3回分の合計ということになる。償還払いについては、控えていた期間に自費でワクチン接種をされた方に対

補正予算の主な事業

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業(4回目)
- 介護保険特別会計繰出事業
- 学童保育所運営事業
- 保健予防事業(HPVワクチン接種)
- 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業
- 宮代町子育て世帯応援金給付事業
- 水道基本料減免事業



集団接種の4回目のワクチン接種会場も進修館で実施

して、町から助成金として支払うことになる。

問 循環バスの運行の見直しを町民の目線で、もう少し考えるべきではないか。

答 循環バスの今のルートについては、アンケートやワークシヨップを経て、分かりやすいルート設定、短時間で目的地に到着できるルート設定を考えてきた。循環バスだけでは全てをカバーできないため、必要な時期にデマンド型の高齢者等タクシー助成事業の推進に努めている。

物価高騰に対する支援の拡充を実施

問 地方創生臨時交付金の活用で、子育て世帯の応援給付事業と水道基本料減免事業を選んだ理由は。

答 まずは給食費の減免などを含めて子育て世帯に優先的に給付ができないかというところで1点考え、さらに余計な経費を掛けず、交付金の多くの額を住民の方へ届けるという趣旨と事業者も含め幅広い支援ができるよう、今回は水道の減免が適していると考えた。

問 水道基本料の減免2か月分は、地方創生臨時交付金の中で配分しているものなのか、町がそれに上乗せをしてやるという考えはなかったのか。

答 約1億3000万円の交付金に対して、町としては270万円程度の財政調整基金を繰り入れている。さらに上乗せというような考えには至らなかった。今後も一般財源からの追加の上乗せは考えていない。

今議会で条例の改正は3件上程されました

こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

〈全会一致で可決〉

入院に係るこども医療費の支給対象年齢を18歳までとし、県内の医療機関で原則、現物給付※される。

重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

〈全会一致で可決〉

重度心身障害者医療費の支給は、県内の医療機関などにおいて原則として現物給付される。

ひとり親家庭等の医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

〈全会一致で可決〉

ひとり親家庭などの医療費の支給は、県内の医療機関などにおいて原則として現物給付される。

賛成討論

塚村 香織 議員

保育園でのアレルギー食対応スチームオーブン購入費など現場の要望に寄り添う対応は、子どもたちの安全、保護者の安心、町への信頼につながる。町民の健康を守る環境整備への予算に賛成する。

賛成討論

小河原 正 議員

債務負担行為の追加で、循環バスルート見直しは、町民の意見・内容が入っていない。このまま認めると、今後5年間変更がないことになるので見直すべきである。予算の内容については異論はない。

賛成討論

泉伸 一郎 議員

新型コロナウイルスワクチン接種の速やかな推進と同様に、町の地方創生臨時交付金の活用事業の早急な対応と事業者への支援も含め、余計な経費を使うことなく交付金を活用することを評価する。

賛成討論

山下 秋夫 議員

町は、今回の国による子育て世帯生活支援特別給付金や地方創生臨時交付金は一過性の政策ではなく、町民生活安定のために持続的に行われるよう、国に対して求めるべき。限定的だが賛成する。

※現物給付の場合、県内の医療機関において、窓口払いが必要なくなります。

工事請負契約の締結

〈全会一致で可決〉

経年劣化による宮代町役場庁舎空調機入替工事と、コミュニティセンター進修館大ホール及び2階ロビーの空調設備改修工事の請負契約を締結する2議案を、全会一致で可決しました。

●宮代町役場庁舎 空調機入替工事

〔請負金額〕

6600万円

〔履行期限〕

令和5年1月31日

〔請負業者〕

(株)茂田工業所

●進修館空調設備 改修工事

〔請負金額〕

7700万円

〔履行期限〕

令和5年1月31日

〔請負業者〕

(株)中村工業所

新しい空調機に入替えられる役場庁舎内

意見書

物価高騰に対する総合的な対策を求める

〈賛成6、反対7で否決〉

新型コロナウイルス危機によつて景気の低迷、生活の困難が長期に及んでいるところに、ガソリン、食料品、電気料金をはじめとした物価高騰が追い打ちをかけて、国民の暮らしと営業は深刻な打撃を受けている。

なかでも日本銀行の「異次元の金融緩和」政策による円安は輸入物価を押し上げ、輸入依存の高い資源価格やエネルギー価格、農産物価格を押し上げ家計を直撃して

けている。

いる。

よつて、政府におかれでは、物価上昇から国民の暮らしと営業を守るため、引き続き対策を講ずるよう強く要望する。

(要旨)

主な質疑

問 日本共産党は5月31日に成立した国会の補正予算に賛成したのか。

答 国会では日本共産党は反対した。

問 国では子育て15歳未満の5万円の給付やガソリン代などへの補助をしている。こうした補正予算に国会で反対しておきながら意見書を出すのは矛盾するのでは。

答 帝国データバンクでは、食品主要105社、商品は1万789品目が本年度中に値上げを予定しているこ

反対討論

角野 由紀子 議員

国の補正予算は、国民生活を守るため、公明党が政府に強く求めていたものである。現在、全国の地方議会で審議されている段階で、意見書を出すことに反対する。

と。また、日銀の黒田総裁が失言し、撤回したが、国民の物価高に対する怒りがあること。国会での補正予算は約2兆7000億円の内、半分以上が予備費で残っていることなどの理由で意見書を提出した。

教育委員会の委員

〈全会一致で同意〉

引き続き教育委員会の委員の任命に同意しました。

任期は令和8年6月11日までの4年間です。



たつがさき たかし 瀧ヶ崎 隆司 氏



住民も議員も真剣なやりとり

令和4年5月14日、進修館小ホール（議場）で議会懇談会を開催し、住民の皆さんと議員により活発な意見交換が行われました。

5月14日 進修館小ホール

議会への 意見・要望

〈抜粋〉

問 高齢者等タクシー助成事業の助成は町民に対してなのか、タクシー事業者に対してなのか。タクシーを呼ぶと300円かかるので、400円では助成とはいえない。

答 町は2年間の実証実験中なので、今年はこの形で進めていくとのこと。現在も要望しているが、本格実施に向けて要望をしていく。

問 町道第252号線の整備はいくらかかるのか。実際に向けて9月議会で議員提案をしてほしい。

答 早急な解決については複数の議員が一般質問でも要望している。春日部市の北春日部駅周辺の開発と合わせて、これから春日部方面への延伸の測量をしていく状況である。

町への意見・要望 町からの見解

〈抜粋〉

問 東武動物公園駅東口の



整備が進む東武動物公園駅東口

整備は、駅を背にして右側は解体が進んでいるが、左側は進んでいない。どうなっているのか。

答 駅東口周辺整備については、駅前広場を町施行の街路事業として埼玉県から平成29年8月に事業認可を得て事業を進めている。用地取得率は、令和4年3月時点で24・9%であり、事業に理解を得られている東武鉄道の土地を含めると63・0%となる。

駅前広場の用地交渉については、右側、左側といったことは関係なく進めているが、国からの補助金や町の予算、そして権利者の再建の都合などもあり、年間2件から3件を目標に用地

を取得している状況である。県事業の駅前通り線は、県施行の街路事業として平成30年12月から事業を進め、用地取得率は100%となっている。

参加者からの 主要要望

▼和戸駅周辺整備において、残土の山については一般質問やテレビ報道で見たが、町はいつから具体的にどうなるのかなど、引き続き努力していただきたい。

▼進修館北側の宮代郵便局付近の横断歩道は危険なので、手押し信号をつけしてほしい。

▼ぐるる宮代体育館前のインターロッキング舗装※がガタガタでカラーコーンが置いてあるが、整備しないと危ない。また、園路を歩いていると、野球場のボールがネットを超えてきたり、自転車に乗っている人がいたり危ない。時々行って確認

してほしい。

▼圏央道にインターチェンジをつけられないか。

▼新しい村を観光拠点として整備し、町内に観光案内所や観光協会を設立して、町外から人を呼び込めるようにできないか。

▼和戸や姫宮などでも、マルシェを実施してほしい。まちづくりは近隣の自治体と連携を。



税収増につながる横町の流通拠点

▼和戸横町のように、町の活性化につながると共に、お金を稼ぐ仕組みを考えてほしい。

次回は11月の予定です。詳しくは11月1日の議会だよりをご覧ください。

※インターロッキング舗装とは コンクリートをレンガ調に組み合わせた舗装方法。

町政をたず

一般質問は6月1日、2日、3日の3日間で行いました。

13人の議員が登壇し、教育関連、新型コロナウイルス対策、和戸駅周辺関係など43項目にわたり、町の考えをたずしました。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたものです。



本会議の様子

通告順(発言順)の記載でなく、抽選順としています。

一般質問項目一覧

1. 丸山 妙子 議員……………P7

- ① コロナ禍での教育・保育
- ② 役場庁舎玄関前に循環バスの停留所の設置を
- ③ 広報紙の全戸配布
- ④ 選挙公報の個別郵送を

2. 塚村 香織 議員……………P8

- ① インクルーシブ社会への取組の推進を
- ② 人数格差のある各小中学校の教育環境への取組は

3. 川野 武志 議員……………P9

- ① 岸辺遊歩道整備
- ② 和戸駅西側の残土の山の解消
- ③ 和戸駅周辺活性化事業

4. 山下 秋夫 議員……………P10

- ① 子どもの給食費の完全無償化を
- ② 和戸駅と周辺の整備と残土の撤去の進捗状況は
- ③ 生活困窮世帯に電気代補助を

5. 金子 正志 議員……………P11

- ① 小中学校の適正配置
- ② 杉戸町・宮代町合併の場合の行政経費の削減額
- ③ 町長は合併の必要性をどのように考えているのか

6. 土淵 保美 議員……………P12

- ① スポーツフェスティバル
- ② コロナ禍における商工業者に対する支援対策
- ③ 環境資源課
- ④ 都市計画道路春日部久喜線

7. 深井 義秋 議員……………P13

- ① 新型コロナウイルス感染症
- ② 友好都市の候補地選定
- ③ TMOみやしろ

8. 西村 茂久 議員……………P14

- ① 宮代町きれいなまちづくり条例
- ② 空き家対策条例の制定
- ③ 側溝整備
- ④ ごみ・し尿収集運搬の移管

9. 田島 正徳 議員……………P15

- ① 4者連携包括協定
- ② 友好都市に関して
- ③ 小中学校のトイレの洋式化
- ④ 高齢者が、楽しく暮らせる町

10. 泉 伸一郎 議員……………P16

- ① 地方創生臨時交付金の活用
- ② 自動販売機リサイクルボックスの異物混入問題
- ③ デマンド交通事業
- ④ スポーツフェスティバルに向けて

11. 小河原 正 議員……………P17

- ① 小中学校の適正配置
- ② 部活地域移行
- ③ 町道第148号路線

12. 丸藤 栄一 議員……………P18

- ① 新型コロナウイルス感染症対策
- ② 大雨への備えとして早期に避難できる取り組みを

13. 角野 由紀子 議員……………P19

- ① 公共施設マネジメント計画
- ② 男性トイレに汚物入れ
- ③ 投票率向上に向けて
- ④ 女性のデジタル人材育成

㊦ 白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。



まるやま たえこ
丸山 妙子 議員

役場庁舎玄関前に循環バスの停留所設置を

移動した場合を確認中。影響がなければ検討



役場庁舎ロータリーに以前のように
バス停の設置を

問 役場庁舎の玄関ロータリーは何のためにあるのか。高齢者や障がいのある方が、「できるだけ頼らずひとりでバスに乗って役場での用事を済ませに行きたい」との思いを実現できるように、優しい

目線での配慮への見直しが必要と思うが。
答 企画財政課長
運行ルートの見直しの際、始発点から終点まで1時間以内とする運行の方向性があり、庁舎前ロータリーから現在の停留所に移動した経緯がある。移動した場合の影響を確認しており、影響がほとんどないようであれば、現在のバス停を利用していただいている方の声を伺ううえで移動については検討したい。

コロナ禍での教育・保育

問 子どものマスクの着用について熱中症が大変心配される。登下校や体育などの授業、室内外での着用基準は。
答 教育長
各学校において文部科学省作成の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」などをもとに対応。熱中症にならないようその時の状況と子どもの様子を観察し判断をす

るよう指導している。
問 保育園で濃厚接触者になった場合、親の収入がなくなり生活が困窮、子どもへの影響や対応は。
答 子育て支援課長
経済的負担や育児の負担が増えて保護者は多くのストレスを抱えていると思われる。「子ども家庭総合支援拠点」において虐待の未然防止、早期発見に努める。

学校で こんな時は“マスク不要”

体育の授業
特に夏場は熱中症対策を優先

運動部の部活動
近距離で組み合う運動は競技団体のガイドラインで

ただし...
部室や更衣室
集団での飲食や移動時
寮での集団生活などでは
マスク着用を

**登下校も 会話に注意して
マスクを外す**

文部科学省
ホームページより

マスクの着用は熱中症にかからないような基準で命を守る

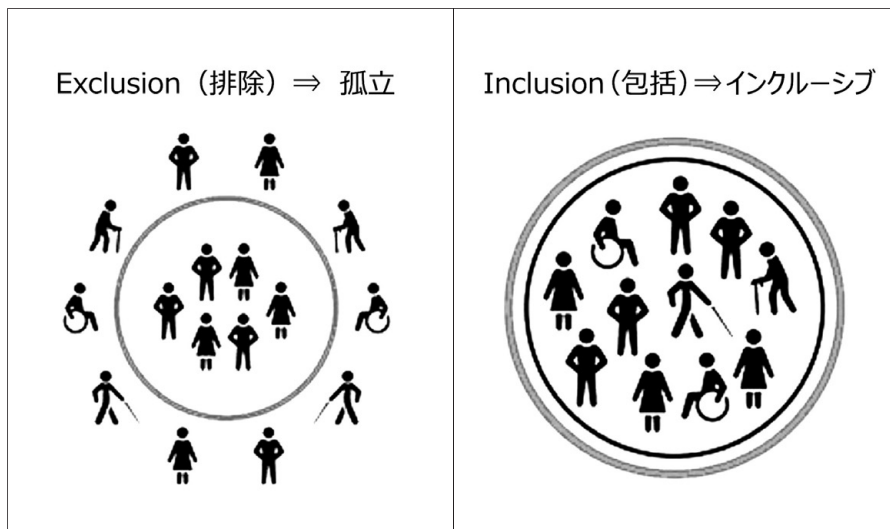


インクルーシブ社会への取組を

様々な方が社会参加しやすい配慮をする



つかむら かおり
塚村 香織 議員



状況の違いを認め合うインクルーシブな意識は大切

問 孤立しないインクルーシブ社会の環境づくりの一つとして、同じ課題を持つ小さなコミュニティや居場所がある事は心強い。高齢者を対象とした「地域のふれあい居場所づくり支援

事業補助金」を拡充し、幅広い世代が活用できる支援事業を検討できないか。

答 町民生活課長

町として進修館オープンカレッジなどでコミュニティづくりを応援している。補助金についても研究を進める。

問 「オリジナルパークを作ろう！」事業にインクルーシブの視点を取り入れることはできないか。

答 まちづくり建設課長

オリジナルパークとして、宮代台中央公園と学園台けやき公園の2か所をモデル公園とした。地元の方が考える公園像を形にする中で伝えていきたい。

各学校の特色を推進

問 各学校の人数格差による教育環境について町の考えは。



地域の拠点となる須賀小学校。今年度から再整備予定

答 教育推進課長

各学校が目指す目標に向かって教育活動を展開できるように努めている。

答 教育推進課長

護者に分かりやすい情報発信の見直しはできないか。

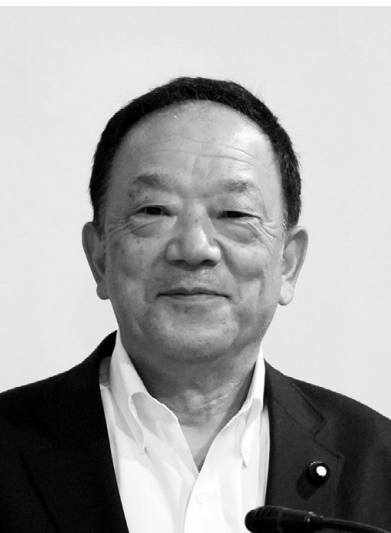
教育委員会におい

問 当町が学校自由選択制を導入している目的の一つに、特色ある学校づくりの推進とある。選択する上で、学校の特色や児童生徒数など、保

ても各学校の特色や現状について、分かりやすくまとめた情報発信に努める。保護者側も能動的な情報収集をお願いしたい。



録画配信



かわの たけし
川野 武志 議員

備前堀川の整備エリア(案)は

まずは番屋橋から文殊院橋までを予定



愛され、親しまれる遊歩道へ

問 地元自治会などの意向を踏まえて、和戸大橋まで整備拡大することは可能か。

答 まちづくり建設課長 整備エリアについては、利用が多い近隣自治会の意見を伺いながら進めていく。

問 鉄橋から下流付近を中心にガレキがあるため、県に撤去を要望できないか。

答 まちづくり建設課長 町の遊歩道整備に合わせ、河川を管理する杉戸県土整備事務所と調整する。

残土の山の解消

問 解消に向けた解決策や決意は。

答 まちづくり建設課長 相続財産管理人の選任という法的手続きに着手できたので、解消に向けて着実に進めていく。

問 町は、撤去方法や撤去費用をどのように考えているのか。

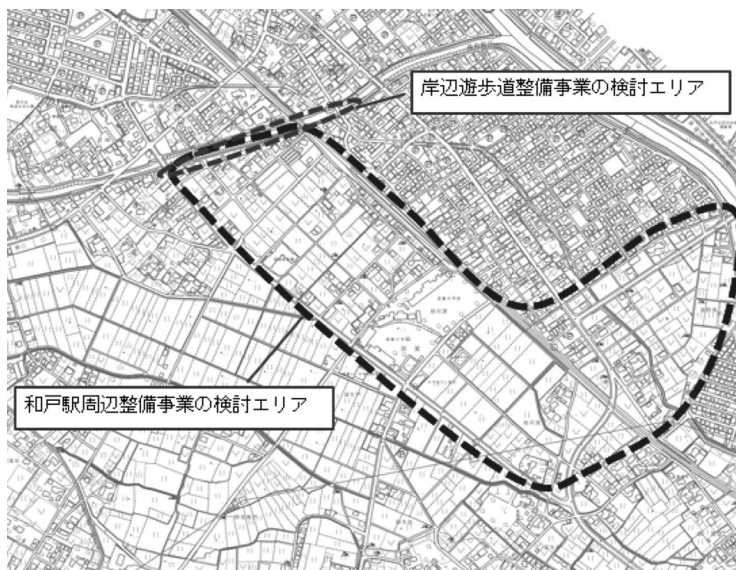
答 まちづくり建設課長

町がすべて負担するのではなく、和戸駅周辺整備の事業を進める中で、民間企業との連携や協力も必要と考えている。

和戸駅周辺活性化事業

問 事業を着実に進めるための体制は。

答 まちづくり建設課長 今年度から担当課



対象となる整備エリア

に「調整幹」を配置し、各担当と連携・協力して、地域の活性化に向けた土地利用などを進めていく。

問 駅西側における住居系の整備の考えは。

答 町長 農業振興地域のため、こういった整備がいいのか、地権者とも話し合って、実現の方策を検討していく。



子どもの学校給食費の完全無償化を

学校給食は保護者負担が原則



やました あきお
山下 秋夫 議員



学校給食費の無償化の自治体は増えています

問 子育て世代の収入が減少し、両親とも働く家庭が増加。町は、無償化の自治体の把握と、子育て世帯支援として給食費の完全無償化を。

答 教育推進課長
町は給食法により保護者負担が原則。県の資料では、無償

化の自治体は東秩父村、滑川、小鹿野、美里、神川町。3子以降は春日部、久喜、幸手市など県内10自治体で実施。町は今回、0～15歳以下の子どもに2万円の応援給付金を支給する。

問 和戸駅整備と残土撤去の進捗状況は。

答 企画財政課長
駅の改修は東武鉄道として、投資効果が見込めることを前提に橋上化も検討するとのこと。町単独での負担はできないため、屋根の延長も含めて利用者の利便性向上のために、引き続き東武鉄道との話し合いを行う。

問 まちづくり建設課長
相続財産管理人が選任された。残土撤去には相応の費用がかかり和戸駅周辺活性化の観点から民間との連携を検討する

答 福祉課長
国の施策により臨時特別給付金で、住民税が非課税世帯などに1世帯あたり

必要がある。完了見込みは、答えられる段階ではない。

問 エネルギー価格が上昇し、生活困窮世帯では、食事や水道代を節約している。電気代補助を求める。

10万円給付。今後、子育て世帯生活支援特別給付金で令和4年度の住民税非課税世帯の子どもに5万円給付。町は、子育て世帯応援金で15歳以下の子どもに2万円給付。全世帯の水道基本料金を2か月間免除し、生活困窮世帯を含め幅広く支援していく。



生活困窮世帯に電気代の補助を



録画配信



かねこ 正志 議員

問 平成の大半合併のときに、埼玉県は行政経費の削減額及び合併特例債の金額を示した。杉戸・宮代合併の場合はいくらであったか。



広域行政で小中学校の適正配置を

杉戸町と合併で行政経費の削減額は

年間約5億3200万円の削減

答 企画財政課長

起債可能な合併特例債は約212・6億円。合併した場合の削減額として、年間約5億3200万円となる。

問 少子化が加速すると予想されている。そのような状況で人口3万人の小さな行政のまま進んでいいのか、危機感をもつ。中学校3校を1校にするという案が進んでいる。

① 建築費の見込は。
② 耐用年数は。
③ 住宅地の隣接する杉戸町と配置を考慮することが子供たちのためといえるが。



古利根川を挟んで両町の住宅街はつながっている

答 教育推進課長

① 他の自治体の参考例として、須賀中学校と同規模の面積で、14億1400万円となる。
② 法定の耐用年数は47年。

答 町長

③ 小・中学校の適正配置の取組の根幹は、宮代町の子供たちのためということ。
問 建築費が14億円。資材が高騰している。17億円あるいは20億円かかってしまう。当町の土木費

答 町長

教育行政は、1つの市町村単位の中で行っている。



スポーツフェスティバルの進捗は

開催に向け関係団体と調整を進めている



つちぶち やすみ
土渕 保美 議員



町民体育祭からスポーツフェスティバルへ

問 町民体育祭からの
見直しの進捗状況は。

答 教育推進課長

これまでの検討経過や地区の意見、新型コロナウイルス感染症への対応を考慮しつつ、町民の健康増進と体力向上に寄与するイベントとなると、調整を進めている。

**商工業者に対する
支援対策**

問 今年度、町として
どのような支援対策
事業を行うのか。

答 産業観光課長

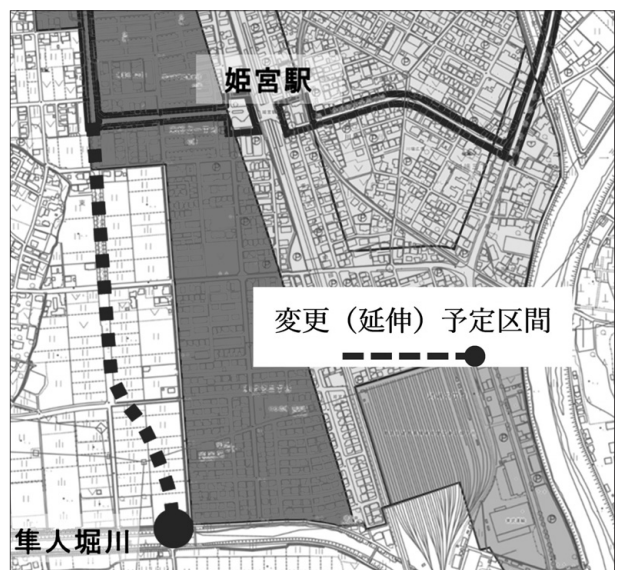
売り上げが10%以上減少している事業者・お店の経営者などへの支援金の給付、キャッシュレス推進事業、店舗・住宅リフォーム事業補助金の予算拡充、商工業活性化事業補助金の予算拡充、経営改善事業の補助率の引き上げを行う。

環境資源課の業務

問 今年度より新たに
設けられた環境資源
課は、どのような事
業を行うのか。

答 環境資源課長

自然保護・環境衛生・公害防止・資源循環の4分野に関わる事業と久喜宮代衛



春日部方面への路線延伸で宮代町の背骨となる道路

名称	3・4・58号 春日部久喜線
延長	約8890m (現在約8210m)
幅員	16m
車線数	2車線

**都市計画道路
春日部久喜線**

生組合業務の移管に
向けた準備を進める。

問 ①北春日部方面へ
の延伸のメリットは。

答 ②供用開始までの期
間は。

答 まちづくり建設課長

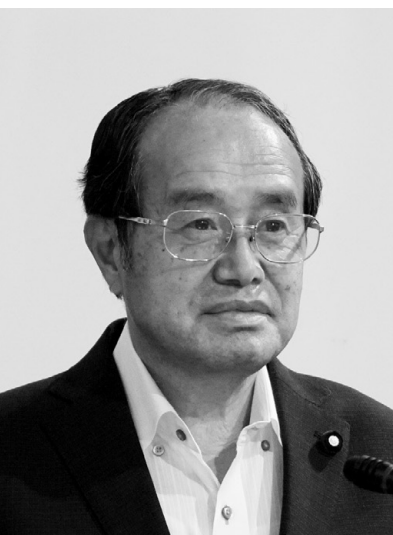
①国道16号線から県道さいたま栗橋線への交通ネットワークの充実による来訪者の増加や、災害時の緊急輸送道路の確保などメリットがある。
②事業期間の目安としては約10年を見込んでいる。



録画配信

友好都市の候補地選定

町民同士の交流が大切



ふかい よしあき
深井 義秋 議員



佐倉藩との関係がわかる まちしるべの庚申塔
こうしんとう

問 友好都市の候補地に佐倉市を考へては、
答 町民生活課長
佐倉市とは江戸時代に宮代町域の一部が佐倉藩だったという歴史的な繋がりがあつ、交流のきつかけにもなり得るものと思う。友好都市の

関係になるには市町民の相互交流や特産品をはじめ、物産の行き来などを重ね互いの良さを知り、関係を育てていく必要がある。

新型コロナウイルス感染症

問 新型コロナウイルスの感染状況は。

答 健康介護課長

児童生徒の感染した総数は156人である。2回目のワクチン接種率は全体で87%。3回目では接種対象者の71・2%が接種を終えている。高齢者施設で入所者が感染した場合は保健所の指導の下、入



TMO みやしろの元事務所「るーばんみやしろ」

院または入所している施設で療養、自宅療養されている方は希望によりパルスオキシメーターや食料を届けている。

TMOみやしろ設立時の町の関わり

問 第三セクターのTMOみやしろへの町の出資と補助金との関係は。

答 産業観光課長

平成16年にTMO構想をとりまとめ、第三セクター方式の

(株)ティエムオーみやしろが設立された。保有株数は町333株、商工会66株、株主総数は129人。るーばんみやしろに対する補助金は国県共に3398万円。また平成30年以降、株主総会が開催されていないことから開催を請求すると共に、代表取締役から清算に向けての進捗状況を伺い、町も顧問弁護士に経緯を報告し助言をもらっている。



宮代町きれいなまちづくり条例改正は

直ちに见直す必要があるとは考えていない



取り戻したい清らかな水辺・蛍（宮代台西側水路）



にしむら しげひさ
西村 茂久 議員

問 きれいなまちづくり条例15年間の総括と改正の考えは。

答 環境資源課長

成果は、環境美化に町ぐるみで取り組む姿勢を示したこと、清潔できれいな町づくりが定着してきたこと。課題は、条例の施行が完璧な手段

でなく、町民の日頃の心がけによるところが大きいということ。条例が現状に即していない、何か不足している状態になく、直ちに见直しの必要があるとは考えていない。

問 水路の認識は。

答 産業観光課長

定期的にごみの除去はしているが、一般的に必ずしもきれいとは言えない状況と認識している。

空き家対策

問 特別措置法に基づく空き家対策計画及び協議会を当町は設置しているか。条例制定の考えは。

答 環境資源課長

計画及び協議会は設置していない。直ちに空き家条例制定の予定はないが、他自治体の情報収集を行い、必要性につい

て検討したい。

側溝整備

問 町道の側溝整備の現状は。

答 まちづくり建設課長

町道の総延長は297km、うち舗装済195km。舗装済で側溝蓋掛け完了は121km、蓋なしが23kmとなっている。

問 開発から50年経過した宮代台1・2丁目工事の概算費用と見通しは。

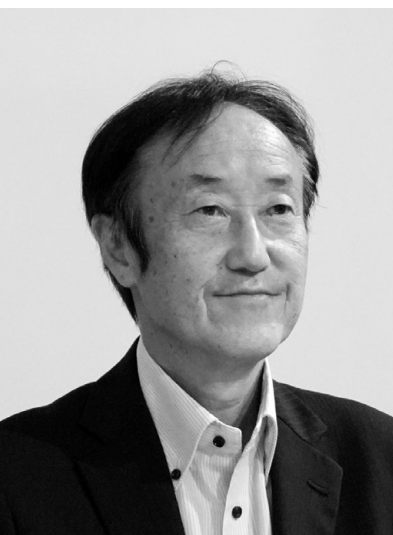
答 まちづくり建設課長

蓋掛け未整備が5.6kmで工事費だけで8億9千万円超。優先順位を確認しながら進めることになる。と考えている。



十数年、荒廃した家屋・敷地





たじま まさのり
田島 正徳 議員

帯状疱疹のワクチン接種は

たいじょうほうしん

2か所の医療機関で実施している



带状疱疹ワクチン接種可能な医療機関

問 ① 带状疱疹は加齢やストレスなどで免疫力が低下するとウイルスが活動し、増殖し始める。一説では、50歳以上で増加し80歳までに3人に

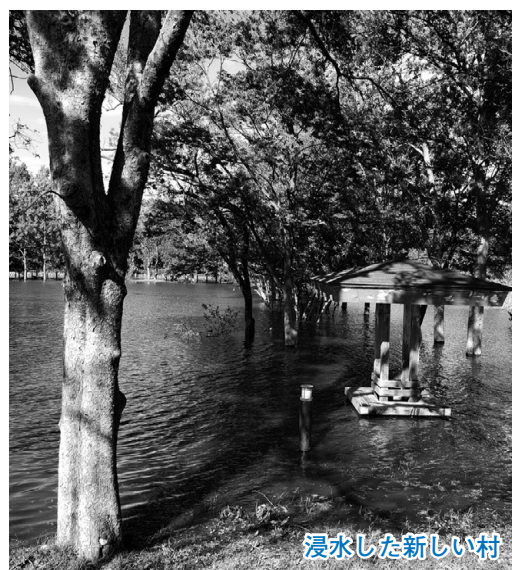
1人が発症するが、ワクチン接種で症状が軽くすむと言われている。ワクチン接種の助成金導入の考えは。
② 高齢者が楽しくウォーキングできる環境整備は。
答 健康介護課長
① 予防接種法に基づかない任意の予防接種である。町内では「六花」と「もともクリニック」でワクチン接種を実施している。国立感染症研究所では、長期的な予防効果には追加調査が必要であり、数年後の効果が公表されていない。現時点では単独で助成

問 地震などの広域災害時に備えて遠隔地の自治体と友好都市関係を締結する考えはあるのか。
答 町民生活課長
広域災害のために

友好都市に関して

を実施する予定はない。
② 健康マッパの整備やガイドマップの作成をしている。「健康ワードラリー」を秋頃実施する予定で、幅広い世代の健康づくりを考えている。

遠隔地の自治体とも1対1の友好関係を築いておくことが大切である。
問 町は来年度中に友好都市をみつけて連携を深めるといふ考えはあるのか。
答 町長
私の公約の1つであり、県内に1つ、関東甲信越で1つくらいと思っている。来年度中に友好都市を結ぶとはいかないけれど、きっかけをつないでスタートしていきたい。



浸水した新しい村

災害時に有効な友好都市の締結を



地方創生臨時交付金を活用すべき

生活者の負担軽減を幅広く図る



いずみしんいちろう
泉 伸一郎 議員



安心・安全な水道供給を。基本料金免除はうれしい！

問 生活支援や産業支援への地方創生臨時交付金の活用は。

答 企画財政課長
交付金を活用し、きめ細やかな対応が必要と考える。学校給食費などの負担軽減のため、子育て世帯へ一律2万円を給

付し、町内全世帯及び全事業所の水道基本料を2か月間免除することで、幅広く負担軽減を図る。

環境問題への取組

問 環境問題と自動販売機リサイクルボックスの異物混入問題への町の見解は。

答 環境資源課長

プラスチックの削減や資源としての再生利用と不法投棄の防止に積極的に取り組んでいく。リサイクルボックスについては、役割や資源へリサイクルされる意義と異物混入をしないようにする意識啓発にも取り組む。

デマンド交通

問 循環バス事業とタクシー助成事業の改善への取組は。

答 企画財政課長

新たに2か所の停



マナーを守って、リサイクルに協力を！

留所を増設し、ノンステップ型のバスを採用する予定である。

答 教育推進課長

バルの進捗は。ぐるる宮代にある屋内外のすべての施設を活用する予定。感染症対策を徹底し、インクルーシブなイベントとして参加できるようプログラムの検討を進めている。

スポーツイベント

問 スポーツフェスティ



録画配信

適正な配置の検討内容を

審議会の検討内容は妥当とした



おがわら だし
小河原 正 議員



子どもたちに最高の教育環境を

問 議会で慎重な取組みを求める請願が採択されて、その後の取組では再度10回の審議会の結果、小学校3校・中学校1校とする計画は妥当とした、検討内容を説明されたい。

答 教育推進課長
審議会の検討内容

は、小中学校の適正規模、通学に関する状況、学校と地域との関わり、適正配置計画後に新たに導入された小中一貫の義務教育学校についてであり、様々な観点から検討を行った。本町としては、20年という長期的な視点で取り組んでいき、令和9年度に宮代町のまちづくりの状況などを踏まえ、改めて検証をする。小中学校の再編を進めた場合の学校の位置は、検証結果を踏まえ検討していく。

学校部活動の地域移行の現状判断は

問 スポーツ庁は公立中学校の休日を対象とした部活動主体を、学校から地域に移行する案を公表したが。

答 教育長

宮代町では、少子化の影響で部員が集まらず存続が難しく廃部になったり、他校と合同で実施している現状がある。

部活動地域移行には、指導を担う地域人材の確保や、活動



今年度から県土整備事務所に職員を派遣し早期完成を目指す

費用の負担、活動場所の環境整備など検討事項も多くある。
町道第148号路線整備の早期完成を。

答 まちづくり建設課長

東小学校付近の五差路対策として、令和4年3月に県が新橋通り線の事業認可を得た。今年度から県土整備事務所に職員を派遣して、拡幅整備の早期完成を目指していく。



「六花」に発熱外来の実施を求めるべき

今後も調整を図っていく



がんだう えいいち
丸藤 栄一 議員



六花に発熱外来の期待の声

問 5月の感染者は、184人。高齢者の感染防止のためにも、高齢者施設で働く職員への定期的なPCR検査は欠かせない。しかし、4月末で終了し不安の声も聞くが。

答 健康介護課長
日本財団や埼玉県

の動きを見据えながら手立てを講じたい。
問 ワクチンの4回目接種の対象者は。

答 健康介護課長

約1万1700人が対象となっている。

問 集団接種は7月1日から進修館大ホールで実施される。個別接種は町内医療機関を基本とし、調整中とのことだが、町内では何箇所で開催されるのか。

答 健康介護課長

現在、4か所から賛同されると見込んでいる。

なぜ六花は発熱外来を診ないのか

問 新型コロナウイルス感染症の疑いのある方が、六花に診てもらえず断られたと聞くが、なぜ診察できないか。

答 健康介護課長

時間や場所といった物理的なものか、

医療資源、人的なものなのか、検証していきたい。

問 六花に発熱外来を実施するよう、強く求めるべきではないか。

答 町長

再三再四にわたり、地域医療振興協会と調整をしている。今後もしっかり調整を図っていきたい。

障がい者などが取り残されないように

問 水害への避難に備え、高齢者、障がい者、幼い子どもや妊婦などには特別な手だてが必要ではないか。

答 町民生活課長

本人の同意を得て個別避難計画の作成を進めている。



町の避難者受入れ訓練の様子





かど の ゆ き こ
角野 由紀子 議員

男性トイレにサニタリーボックス設置を

役場には設置した。公共施設も順次したい



男性トイレにもサニタリー
ボックス設置 (役場庁舎)

問 「男性で尿漏れパッドを着用する人が増え、その捨場に人知れず、苦勞している」との新聞見出しがあった。自治体や商業施設に設置が広がっている。当町の男性トイレのサニタリーボックス設置状況は。

答 企画財政課長

他市町の事例を確認し、当町でも役場庁舎の全箇所を設置した。他の公共施設についても、順次設置していきたい。

問 投票率の向上へ対策をどう進めるか。

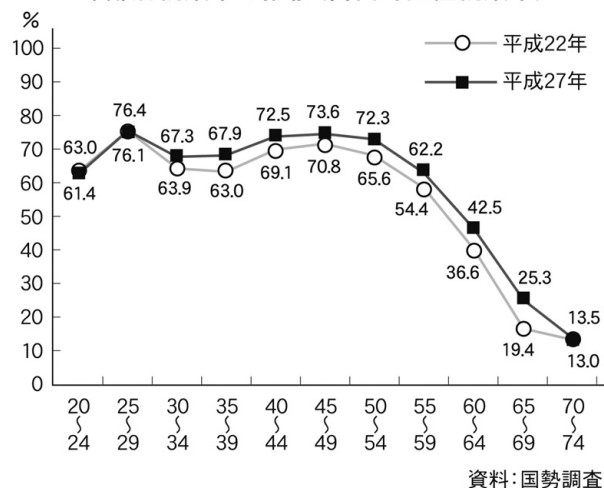
答 総務課長

残念ながら、投票率低下傾向が続いている。若年層への呼びかけが重要であり、SNSを通じて投票の呼びかけを行っている。

女性のデジタル人材育成

問 社会のデジタル化により、ITを活用した仕事が増える。

年齢別就業率の推移〈宮代町女性就業率〉



M字カーブはなくなりつつ、宮代町女性の就業率

一方、働き手の確保が追い付いていない。2030年には、情報システム部門で働く人材が最大で約80万人不足するとの試算もある。

長野県塩尻市では、市と市振興公社がテレワークによる就労支援に取り組んでいる。ひとり親在宅就労支援からスタートした優良事例と評価されている。

① 当町の女性雇用の現状は。

② 当町も女性のデジタル人材育成の積極的推進を考えては。

答 産業観光課長

① 女性の就業率は44・98%。子育て世代20歳～49歳の就業率は69・94%。

② 県で、女性のデジタル人材育成推進事業が始まっている。積極的な周知を行う。





町民の声



青木 照雄さん（中央）

分教場跡地の活用を

宮代町では現在、第5次総合計画がスタートして2年目に入りました。

諸計画は順調に進んでいくと思います。

反面、クローズアップされていない事柄は、どう訴えても前へ進みません。その一例として、分教場跡地の利用についてがあります。議員の一般質問や一部区長が訴えても、町は東口の再開発の代替地という一点張り、あれだけの土地が本当に

必要ですか。数十年も草が伸び放題、周囲の方は大迷惑、町民はなぜ他に利用しないか、町の七不思議と言います。

例えば多目的広場、避難場所、グラウンドゴルフ場、遊び場、憩いの場などに出来ないでしょうか。この地区も高齢化が進み、「はらっパーク宮代」や遠くまで行けない方が多いです。まして皆さんの憩いの場「どんぐり公園」は私有地です。心から訴えます。人に優しい町づくりには人の優しい政策が必要です。是非、分教場跡地を多目的広場として活用してもらえればと思います。

議会を傍聴しませんか

9月議会の予定は

8月25日(木) 午前10時開会

進修館小ホール（議場）

一般質問は8月30日(火)・31日(水)・9月1日(木)



【副委員長】 深井 義秋
泉 伸一郎
金子 正志
【委員長】 塚村 香織
丸藤 栄一

広報委員

5月14日に、コロナ禍で長く中止になっていた議会懇談会が開催されました。参加された皆様が議会だよりをしっかりと読んでくださっていると感じます。また、以前に民生委員をされていた方からも、議会だよりを隔々まで読んでいると聞き、大変感動いたしました。これからもさらに精進して参ります。

（泉）

編集後記

議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 一議長は表決に加わらない。

議案番号	議案	議決結果	議員										議長
			政策会議 かがやき 3人	日本共産党 2人	無所属 1人	公明党 2人	令和4年度 新風の会 5人	川野武志	深井義秋	土淵保美	田島正徳	塚村香織	合川泰治
29	こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	教育委員会の委員の任命につき同意を求めること	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	令和4年度一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	令和4年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	令和4年度一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	令和4年度水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書2	物価高騰に対する総合的な対策を求める意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

こんにちは 県議会です



県議会に関するさまざまな情報をタイムリーに放送中

※詳しい放送スケジュールは、埼玉県議会ホームページをごらん下さい
(<https://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/index.html>)